



## 佐渡島におけるミゾゴイの営巣初記録と生息状況

高橋雅雄

新潟大学 研究推進機構 朱鷺・自然再生学研究センター, 〒 952-0103 新潟県佐渡市新穂潟上 1101-1

ミゾゴイ *Gorsachius goisagi* はペリカン目サギ科に属する東アジアの固有種であり、日本の本州、四国、九州の低山の森林環境で繁殖する(日本鳥学会 2012)。個体数の減少が危惧される希少種であり(Kawakami & Higuchi 2003)、国際自然保護連合(IUCN)により絶滅危惧 I B 類(EN)に(IUCN 2013)、環境省により絶滅危惧 II 類に指定されている(環境省 2012)。新潟県においては観察例が少ない夏鳥であり、近年になって上越地域(上越市: 2007 年, 日本野鳥の会新潟県支部 2010; 十日町市松之山地域: 2007 年・2013 年, 村山祐一氏私信)と中越地域(長岡市: 2008–2013 年, 古川 2012, 2013)において営巣が確認されている。佐渡島においては、島南側の小佐渡丘陵北東部にて繁殖の可能性がある(B ランク)とされているが(環境庁 1981)、確実な営巣記録は無い(環境庁 1981, 日本野鳥の会佐渡支部鳥類目録編集委員会 2004)。なお、日本鳥類目録改訂第 6 版(日本鳥学会 2000)および改訂第 7 版(日本鳥学会 2012)では佐渡島で営巣(MB)となっているが、前者は上記の環境庁(1981)を根拠に営巣と判断したと推察され(梶田学氏私信)、後者は前者の記述を踏襲したものであり(池長裕史氏・川上和人氏私信)、確実な営巣記録に基づいたものではない。本報では 2014 年 7 月に佐渡島内にて初確認されたミゾゴイの営巣 1 例を紹介し(本例は近藤

(2014) および日本野鳥の会佐渡支部(2014)も簡単な報告をしている)、2000 年以降の繁殖期の島内での観察記録をまとめ、現在の生息状況を推察した。

営巣を観察した場所は、佐渡島の小佐渡丘陵

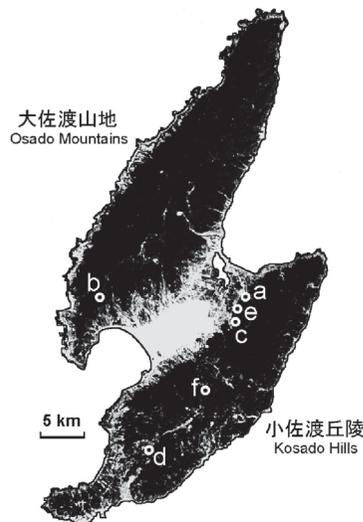


図 1. 近年の春夏季における佐渡島内でのミゾゴイの観察地点。黒は森林、薄灰色はその他の環境を示す。図中の a-f は表 1 に対応する。

Fig. 1. Distribution of observation records of Japanese Night Herons in Sado Island (black: forest area; light grey: other areas) during 2000–2014 breeding seasons.

2015 年 2 月 25 日 受理

キーワード: ミゾゴイ, 佐渡島, 繁殖地

中央部（佐渡市猿八：標高 360 m）に位置する、複数の沢沿いに発達した落葉広葉樹林であった（図 1-f）。高木層は樹高 20m ほどのコナラ *Quercus serrata* Murray, イヌシデ *Carpinus tschonoskii* Maxim., ホオノキ *Magnolia obovata* Thunb. などから成り、亜高木層の樹種はほとんど無いため見晴らしがよく、林床は樹高 2m 未満のオオバクロモジ *Lindera umbellata* Thunb. var. *membranacea* (Maxim.) Momiy. ex H.Hara et M.Mizush., ヒメアオキ *Aucuba japonica* Thunb. var. *borealis* Miyabe et Kudô, ハイイヌガヤ *Cephalotaxus harringtonia* (Knight ex Forbes) K.Koch var. *nana* (Nakai) Rehder などの低木が疎らに生えていた。林内には小佐渡丘陵を南北に縦断する県道 81 号線が沢に沿って通っており、道路脇には、ヨモギ *Artemisia indica* Willd. var. *maximowiczii* (Nakai) H.Hara や ススキ *Miscanthus sinensis*

Andersson などが生えていた。また、観察場所の半径 200m 圏内には複数の民家や水田があった。

2014 年 7 月 12 日 AM5:10-5:30 と 7 月 20 日 AM5:00 および PM18:00 に県道脇の裸地でミミズ類を捕食する成鳥 1 個体が観察され（図 2-a）、7 月 21 日 AM4:09-4:27 には県道近くの沢でサワガニ *Geothelphusa dehaani* を捕食する成鳥 1 個体が近藤健一郎氏により観察された（図 2-b）。また、7 月 20 日朝に県道傍の沢筋の落葉広葉樹林内にて 1 巣を確認した（図 2-c）。巣内には雛が 4 個体おり、それぞれで生育状況が異なっていたが、川名（2012）に従うといずれも孵化後 35 日は経過していたと推察され、巣立ち直前の段階であった。雛は翌 21 日も巣内で観察され、22 日早朝に巣立った（近藤 2014）。

営巣木は沢の西斜面中腹から生えるイヌシ

表 1. 近年の春夏季における佐渡島内でのミゾゴイの観察記録。観察地点は図 1 に依った。

Table 1. Observation records of Japanese Night Herons in Sado Island during 2000-2014 breeding seasons.

年月日 Date	地点 No. Site No.	場所 Address	観察内容 Observation	観察者 Observers	引用・備考 References & Notes
May 27, 2012	a	田野沢砥石堤	日中に成鳥 1 個体が路上で採餌	中津弘	
August 5, 2012	b	山田青野峠	日中に成鳥 1 個体を路上で確認	柴田直之	日本野鳥の会佐渡支部 (2013)
May 20, 2013	c	瓜生屋郷坂	夕方に成鳥 1 個体が採餌	近藤敬一 土屋正起 (住民情報)	日本野鳥の会佐渡支部 (2013)
July 10, 2013	d	羽茂大崎			2014 夏季も同所で確認
May 16, 2014	e	田野沢	早朝に林内から声	土屋正起	
May 17, 2014	e	田野沢	早朝に林内から声	土屋正起	
July 12, 2014	f	猿八	早朝に成鳥 1 個体が路上で採餌	高橋雅雄	
July 20, 2014	f	猿八	雛 4 個体を確認	高橋雅雄	
July 21, 2014	f	猿八	雛 4 個体を確認	高橋雅雄	
July 22, 2014	f	猿八	早朝に雛の巣立ちを確認	近藤健一郎	近藤 (2014)

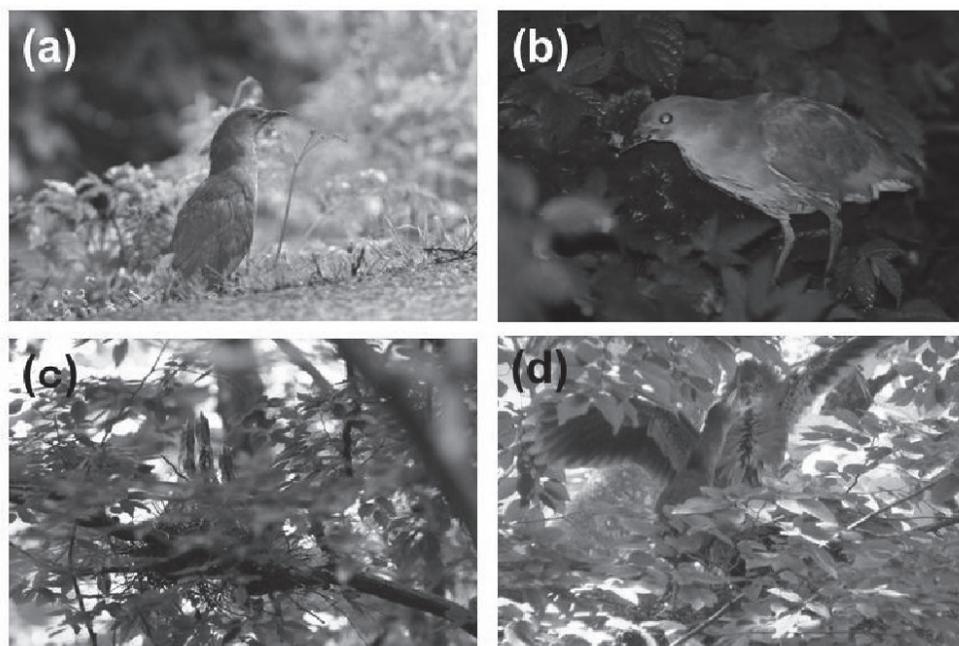


図2. 県道脇で採餌する親鳥と推察される成鳥 (a: 2014年7月12日, 高橋雅雄撮影), サワガニを採餌する親鳥と推察される成鳥 (b: 2014年7月21日, 近藤健一郎氏撮影), 巣と雛4個体 (c: 2014年7月20日, 土屋正起氏撮影) および親鳥による雛への給餌の様子 (d: 2014年7月21日に高橋雅雄が撮影した動画より)

Fig.2. (a) : An adult Japanese Night Heron on the road on 12 July 2014, (b): An adult with a Japanese freshwater crab in the beak on 21 July 2014, (c): Nest and four nestlings on 20 July 2014 and (d): A parent feeding their nestlings on 21 July 2014.

デ(樹高約20m; 胸高幹周135cm)であった。巣は林床と林冠の中間部(架巢高11.9m)にあり、沢へ張り出した横枝がY字状に枝分かれしたところに枯れ枝を組んで雑に作られ、枝葉で隠蔽されてはいなかった。これは他地域での営巣状況(石川ほか2012; 川名2012)と酷似するが、イヌシデでの営巣は初報告である。

営巣場所は落葉広葉樹林の中でもイヌシデが特に優占する地点で、巣の周囲10m以内には、高木としてはイヌシデ8本(営巣木を含む)、ホオノキ2本、ミズキ *Cornus controversa*

Hemsl. ex Prain 2本、サクラ類(ヤマザクラ *Cerasus jamasakura* (Siebold ex Koidz.) H.Ohba またはカスミザクラ *Cerasus leveilleana* (Koehne) H.Ohba と推察される) 4本、ヤマモミジ *Acer amoenum* Carrière var. *matsumurae* (Koidz.) K.Ogata 1本が見られた。また、低木としてはオオバクロモジ、ヒメアオキ、ハナイカダ *Helwingia japonica* (Thunb.) F.Dietr., オオカメノキ *Viburnum furcatum* Blume ex Maxim., ハイイヌガヤが見られた。

7月21日に計11時間40分(AM6:20-

PM18:00) の巣のビデオ撮影を行い、親鳥の育雛行動を観察した。機材としてデジタルHDビデオカメラレコーダー (SONY HDR-XR550) と望遠レンズ (レイノックス HDP-7700ES) を用い、営巣林内の巣から約 30m 離れた地点にこれらビデオカメラを設置した (十分な距離をとったため、営巣活動への悪影響はほとんど無かったと考える)。親鳥は日中計 8 回巣を訪問し (入巣時刻: 8 時 52 分・8 時 53 分・11 時 24 分・11 時 40 分・13 時 29 分・14 時 21 分・15 時 38 分・17 時 3 分)、雛への給餌を行った。成鳥 2 個体が交代で巣に入って給餌する様子も観察され、雌雄ともに雛へ給餌していたと判断できた。給餌の際、親鳥は頭部および頸部の羽毛を逆立て、両翼を上げ、まるで威嚇するような態勢を雛へ示した (図 2-d)。一方で、川名 (2009; 2012) が述べたような雛の翼を上げた餌乞い行動は見られなかった。

佐渡島においてミゾゴイは観察例の極めて少ない稀な鳥であったが (日本野鳥の会新潟県支部 2010)、2012 年以降は成鳥の観察例が南部の小佐渡丘陵を中心に複数ある (表 1, 図 1)。よって、少なくとも最近では毎年のようにある程度の個体が渡来し営巣していると推察される。本種にとって佐渡島は重要な繁殖地の 1 つであろう。

池長裕史・川上和人・梶田学の各氏には日本鳥類目録の記述の経緯について情報をいただいた。渡辺央・千葉晃・村山祐一の各氏には新潟県内のミゾゴイの繁殖状況について、土屋正起・近藤健一郎・長尾俊一・近藤敬一・柴田直之・中津弘の各氏には佐渡島内の観察記録について情報をいただいた。大脇淳氏には営巣地の植生調査にてお世話になった。匿名の査読者には有意義なご指摘とご助言をいただいた。厚く感謝申し上げます。

## 引用文献

- 古川英雄. 2012. 長岡市高頭町におけるミゾゴイの繁殖. 野鳥新潟 157: 2-3.
- 古川英雄. 2013. 長岡市高頭町におけるミゾゴイの繁殖 (6年間の概要と2012年~2013年の特徴的事項). 野鳥新潟 163: 8-9.
- 石川正道・浜口 寛・小西恭子・藤田一作・大鹿裕幸・川上和人. 2012. 愛知県西三河地域におけるミゾゴイ *Gorsachius goesagi* の営巣樹種と立地環境. 日鳥学誌 61: 289-295.
- IUCN. 2013. IUCN Red List of Threatened Species (version 2014.2). URL: <http://www.iucnredlist.org/details/22697237/0> (2014年9月9日アクセス)
- 環境省. 2012. 【鳥類】環境省第4次レッドリスト (2012). <[http://www.env.go.jp/press/file\\_view.php?serial=20551&hou\\_id=15619](http://www.env.go.jp/press/file_view.php?serial=20551&hou_id=15619)>, (2014年9月9日アクセス)
- 環境庁. 1981. 日本産鳥類の繁殖分布. 大蔵省印刷局, 東京.
- Kawakami, K. & Higuchi, H. 2003. Population trend estimation of three threatened bird species in Japanese rural forests: the Japanese Night Heron *Gorsachius goesagi*, Goshawk *Accipiter gentilis* and Grey-faced Buzzard *Butastur indicus*. J Yamashina Inst. Ornithol. 35:19-29.
- 川名国男. 2009. ミゾゴイの雛の翼開帳行動は分身の術か?. 山階鳥類学雑誌 41: 1-2.
- 川名国男. 2012. ミゾゴイ—その生態と習性—. ジャパンプリント, 東京.
- 近藤健一郎. 2014. 佐渡でミゾゴイが繁殖. 野鳥新潟 167: 9.
- 日本鳥学会. 2000. 日本鳥類目録改訂第6版. 日本鳥学会, 帯広.
- 日本鳥学会. 2012. 日本鳥類目録改訂第7版. 日本鳥学会, 三田.
- 日本野鳥の会新潟県支部. 2010. 新潟県の鳥 新潟県鳥類目録. 新潟雪書房, 新潟.
- 日本野鳥の会佐渡支部. 2013. 稀鳥・珍鳥・迷鳥. いそひよ 23: 5.

日本野鳥の会佐渡支部. 2014. 稀鳥・珍鳥・迷鳥. いそひよ 24: 5.      日本野鳥の会佐渡支部鳥類目録編集委員会. 2004. 佐渡島鳥類目録. 日本野鳥の会佐渡支部, 佐渡.

## First breeding record and present status of Japanese Night Herons *Gorsachius goisagi* in Sado Island

Masao Takahashi

Center for Toki & Ecological Restoration, Institute for Research Promotion, Niigata University. 1101-1, Niibokatagami, Sado 952-0103, Japan

I observed a nest of the Japanese Night Heron *Gorsachius goisagi* in Sado Island, Niigata Prefecture on 20 July 2014. This is the first breeding record of this species from the island. There have been some observation records of the species in recent breeding seasons in the island. It suggests that some pairs of the herons breed in the island.

*Key words:* *Gorsachius goisagi*, *Nesting*, *Sado Island*